

市の人事行政運営などの状況

問 人事課 ☎76-8102 ID 3581

市では、人事行政運営などの状況について公平性や透明性を高めるため、条例に基づき、職員の給与、勤務条件、研修などの状況を公表します。詳細は、ホームページで

①職員の任免および職員数

令和6年4月1日現在	令和6年度退職者数	令和6年度採用者数
644人	26人	33人

- 職員数は一般職に属する職員数
- 退職者数は定年、早期、自己都合などにより退職した職員数
- 採用者数は試験により採用した職員数

②育児休業等取得者数

(令和6年度)

区分	男性	女性	計
育児休業取得者	11人	16人	27人
部分休業取得者	1人	10人	11人
育児短時間勤務取得者	1人	4人	5人

③職員の給与の状況

職員給与費の状況

(令和6年度普通会計予算)

職員数(A)	給与費				1人当たりの給与費(B/A)
	給料	職員手当	期末勤勉手当	計(B)	
614人(1人)	21億5,966万円	4億8,025万円	9億1,426万円	35億5,417万円	579万円

- 普通会計とは、本市の場合、一般会計と土地取得・旭平和墓園事業の各特別会計を合わせたもの
- 職員手当には退職手当を含まない ●給与費は当初予算に計上された額 ●()内は暫定再任用短時間勤務職員
- ※金額は、表示単位未満を四捨五入しているため、合計などとは一致しない場合があります。

一般行政職の平均年齢、

平均給料月額および平均給与月額

(令和6年4月1日現在)

平均年齢	平均給料月額	平均給与月額
41.0歳	321,700円	399,634円

- 平均給料月額とは、職員の基本給の平均
- 平均給与月額とは、給料月額と毎月支払われる扶養手当、地域手当、住居手当などの諸手当の額を合計したもの

期末手当・勤勉手当

(令和6年度)

尾張旭市		国
期末手当	勤勉手当	同じ
2.5月分 (1.4月分)	2.1月分 (1.0月分)	

- ()内は再任用職員に係る支給割合

退職手当

(令和6年4月1日現在)

尾張旭市			国
区分	自己都合	勸奨・定年	同じ
勤続20年	19.6695月分	24.586875月分	
勤続25年	28.0395月分	33.27075月分	
勤続35年	39.7575月分	47.709月分	
最高限度額	47.709月分	47.709月分	

④職員の分限および懲戒処分の状況

(令和6年度)

処分の種類	人数
分限処分(心身の故障、勤務実績不良、適格性欠如など)	休職 10人
	免職、降任、降給 0人
懲戒処分 (一般服務、コンピュータ利用、公金、市有物品または市有財産取扱い、公務外非行、飲酒運転・交通事故・交通法規違反、監督責任)	免職 0人
	停職 1人
	減給 0人
	戒告 0人

市非常勤職員 (会計年度任用職員)の募集

問 人事課 ☎76-8102 ID 3383

令和8年4月から任用する非常勤職員を募集します。

主な職種

職種	職務内容	資格などの要件
事務員	窓口業務、事務補助など	—
事務員 (障がい者)	窓口業務、事務補助など	○
納税 促進員	納税の勧奨に関する 事務など	○
保育士	保育園での保育業務	○
調理員	保育園の給食の調理	—
児童クラブ 指導員	留守家庭児童の放課後 保育など	○
交通指導員	児童の交通安全指導業務	—

申し込み 12/25(木)までに任用申込書(資格が
必要な職種は資格者証などの写しも)を直接
その他 他の職種などの詳細は、ホームページで

多様な視点で考える 男女共同参画講座

あさひ健康
マイスター
チャレンジ
対象事業

問 多様性推進課 ☎76-8125 ID ①48320 ②48321

避難所生活や働き方に焦点をあてた男女共同参画講座を開催します。

内容	①男女で共に考える “もしも”のとき	②働く男女のための 「壁」克服講座
多様な視点で、避難所生活をイメージトレーニング!	多様な視点で、避難所生活をイメージトレーニング!	「年収の壁」を越えて、多様な働き方を実現しよう!
とき	12/20(土) 10:00~12:00	12/20(土) 13:30~15:00
ところ	中央公民館 209会議室	
対象者	各30人(先着。市内在住のかたを優先)	
申し込み	12/1(月)~12/18(木)に 電話か下記二次元コードで	
申し込み フォーム		
託児	12/11(木)まで。 生後3カ月以上の未就学児、6人	

輪島市派遣職員レポート vol.4

問 広報戦略課 ☎76-8106 ID 36386

R7.10/1から被災地支援のため、本市職員を再び石川県輪島市役所に派遣し、公費解体業務*に従事しています。派遣職員から、現地の様子などをお知らせします。



輪島市は、公費による家屋解体が申請数の約9割まで完了している状況です。市内では崩れた家屋などではなく、更地になっているところが多いと感じます。しかし、道路の損傷などで重機が入れず、解体作業が思うように進まない場所も一部残っています。また、市内の至る所で復旧工事による交通規制が行われており、市全体の復旧が完了するまでにはまだ時間がかかるような印象を受けました。

先日、解体家屋のがれきが集まる仮置き場を見学する機会がありました。がれきは事業者により丁寧に分別された後、県外の処理場へ運ばれていくそうです。このほか、地震で隆起した漁港の再建調査や、昨年の能登豪雨で崩落した斜面の復旧工事なども進められています。

毎日、能登方面には多くの支援事業者の車両が集まっています。県外ナンバーの車両とすれ違うたびに「ありがとう! がんばろう!」と励みになります。



派遣職員 成瀬さん

*公費解体業務: 被災家屋などについて、二次災害の防止と被災者の負担軽減を図り、生活再建支援につなげるため、輪島市が所有者に代わって解体・撤去などを実施するもの



解体家屋のがれき仮置き場



地震によって隆起した漁港